

トピックス

第7回関東信越ブロック神経・筋疾患ネットワーク研究会 開催
in新潟病院

新潟病院 療育指導室 主任保育士 海津 恵子

平成27年6月26日（金）、国立病院機構新潟病院に於いて神経・筋疾患ネットワーク研究会が開催されました。NHO9病院に加え、NHOの活動に共感する民間施設から特別聴講参加者及び当院の参加者を合わせ約110名の盛大な開催となり、職種も医師、看護師、PT・OT、ST、ME、臨床検査技師、療養介助員、臨床心理士、MSW、児童指導員、保育士等幅広く参加していただきました。

当院は昨年6月に8階建て新棟に引っ越しをし、1F療育室ホールを研究会の会場として、自動演奏グランドピアノが奏でる演奏と共に参加者を出迎えました。

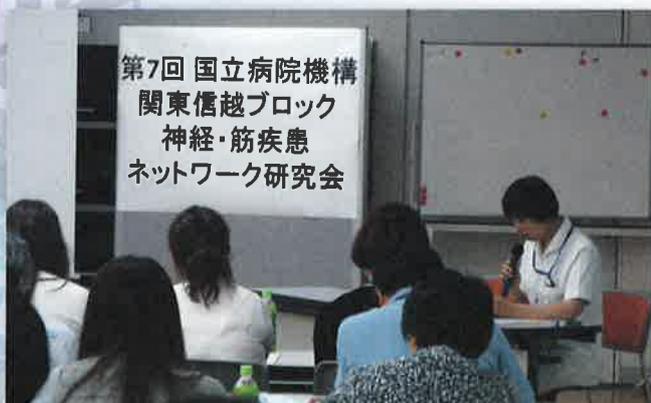


研究会前に新棟見学会を企画し、1Fのリハビリ室、ロボットスーツHAL、スヌーズレン室、6・7F療養介護病棟の天井走行リフト、ミスト浴設備等のほか、難病リハ室、通所施設、院内に常設された佐藤伸夫美術館を見学していただき、日本海

を一望できる屋上は富沢院長自ら案内させていただきました。

研究会は、一般報告が3セッション11題で、医療、看護、リハビリ、福祉、心理の分野から多岐にわたり発表されました。どの発表も参加者は熱心に聞き入り、活発な質疑応答が交わされていました。特に、当院看護師が発表した「天井走行リフトを導入して」に関しては、事前の見学で見ていただいた後だったこともあり関心度は高く、事後のアンケートには多くのコメントが寄せられていました。

また、当院の中島副院長による特別講演「神経・筋疾患におけるロボットスーツHALの医療





応用と今後の展望」は、当院理学療法士からの「HAL導入の取り組み」の発表と相まって、重症難病患者への導入を含む将来的に幅広い可能性を期待する多くの質問・意見等が寄せられていました。閉会後も会場片隅で熱心に意見交換する姿が印象的でした。

この研究会は開催病院が持ち回り制となって



おり、世話人会で平成28年度は6月24日、さいがた医療センターと既に決まっております。（再来年度は相模原病院です）この研究会が今後も永く継続されていきますことを祈念しますと共に、遅ればせながら参加者皆様のご協力により円滑な運営ができましたことに深く感謝しお礼を申し上げます。